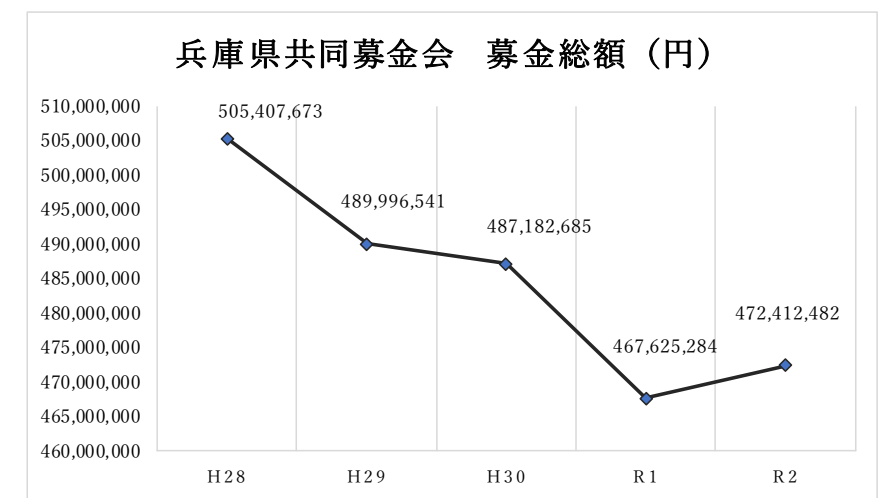
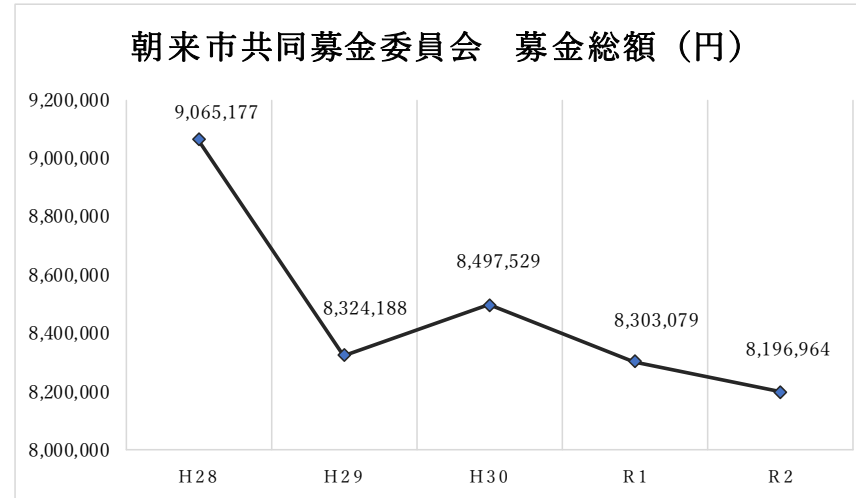


共同募金の過去5年間の実績

近年、市内だけでなく県内外でも募金額は減少傾向にあります。その中で、今後募金運動や啓発活動などもあらゆる工夫が求められ、その推進については多方面との連携・協働を呼びかけていくことが必要になってくるところです。



地域福祉事業費配分金事業報告 (R2 年度募金実績)

共同募金の性格上、公的サービスでは解決できない地域性のある課題に対する取り組みや、福祉に関する啓発活動へ主に充当され、地域福祉の向上を目指しています。令和元年度の募金活動をもとに、R2 年度配分を受けて実施した事業は下記のとおりです。

ほっとコミュニケーション事業

市内の 75 歳以上のひとり暮らし高齢者の誕生日にメッセージカードと品物をお届けし、安否の確認と近況などをお伺いしています。



R2 年度は 733 人にお届けしました

配食サービス事業

70 歳以上の高齢者世帯の方で調理や買い物が困難な方を対象に、365 日希望の日に昼食や夕食をお届けし安否確認を行います。



R2 年度は 10,767 食をお届けしました

地域とまり木事業

地域のお年寄りから子ども、大人や障がいをお持ちの方など、誰でも気軽に立ち寄っていただける「地域の交流拠点」を目指しています。



R2 年度は延べ 5,212 人がご利用されました

日常生活支援事業

離職・失業・転職等、一時的に生活に困窮された世帯に対し、それぞれの実情に応じた生活支援を行い、危機的な状況から脱却に向けた支援を行っています。



R2 年度は 35 世帯に支援を行いました

福祉教育助成事業

市内各校に対して福祉の心を育む福祉教育活動の推進を目的に、取り組みに応じた額を助成しました。必要に応じて職員派遣・備品貸出なども行う事で様々な支援をさせて頂きました。



R2 年度は 16 校 総額 335,000 円を助成

地域応援助成事業

市内の行政区単位ごとに募集し、住民の主体による地域での食堂事業を開催。世代間交流の機会を増やすことにより、地域の支え合い助け合いづくりを推めていくことを目的に「わがまち食堂」開催の助成を行いました。また、地域での気軽な集まりぶちサロンで、住民同士の安否確認、情報交換を行っておられます。



障がい者の宿泊訓練事業

障がい者の方が自宅を離れ、買い物や調理などの日常生活の自立訓練をしながら宿泊の体験をしました。

R2 年度は、コロナ禍により 3 名のみ利用となりました。

1 月よりあおぞら施設の短期入所事業に移行されました。



困りごとお助け隊事業

社会福祉協議会の配食サービス利用者、80 歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、普段の軽易な困りごとを支援した。

遠保にお住まいのご家族に、週 1 回、ご利用者の様子をショートメールで送信しています。



その他、広報誌「社協だよりあさご」の発行 (年 6 回)・ホームページの運営に充当しております。